

第2期朝来市創生総合戦略事業評価指標(KPI)達成状況

基本目標1 自分らしく生き生きと活躍する「ひと」づくり

◆ASAGOiNGな人を育む

事業評価指標	策定時(R1)	指標の推移			目標値(R6)	指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	担当課
		R2	R3	R4			
朝来市が好きだと思う生徒の割合(中学3年生アンケート調査)	87.0% (R1年5月調査)	89.0% (R3年5月調査)	80.6% (R4年5月調査)	84.9% (R5年5月調査)	90.0%	—	学校教育課
住んでいる地域に愛着や誇りを持つ市民の割合(市民アンケート調査)	62.8% (R1年5月調査)	63.8% (R3年5月調査)	70.0% (R4年5月調査)	66.6% (R5年5月調査)	65.0%	—	総合政策課
学校運営協議会を導入し、地域と連携した学校・地域の課題解決や活動した学校の割合	小学校22.2% 中学校 0% (R1)	小学校100% 中学校100%	小学校100% 中学校100%	小学校100% 中学校100%	小学校100% 中学校100%	—	学校教育課
「地域行事に参加した」児童生徒の割合	小学校65.7% 中学校33.9% (R1)	—	小学校78.4% 中学校70.2% (R3)	小学校75.9% 中学校64.3% (R4)	小学校75.0% 中学校55.0%	—	学校教育課
区の地域活動に参加した人数の割合(市民アンケート調査)	69.7% (R1年5月調査)	52.6% (R3年5月調査)	45.1% (R4年5月調査)	53.5% (R5年5月調査)	75.0%	—	市民協働課
自らの知識や経験を地域社会活動に活かしている市民の割合(市民アンケート調査)	28.7% (R1年5月調査)	25.8% (R3年5月調査)	25.0% (R4年5月調査)	26.2% (R5年5月調査)	32.0%	—	市民協働課
地域づくりの学びの場開催回数	5回/年 (R1)	6回/年 (R2)	5回/年 (R3)	6回/年 (R4)	5回/年	—	市民協働課
地域自治協議会の参画人数	1,671人 (H30)	1,698人 (R2)	1,385人 (R3)	1,332人 (R4)	1,850人	コロナ禍において事業・会議数の減少のほか、事業を実施した場合においても参加人数を絞っており、参加する機運の復調にまでは至っていないため。	市民協働課

◆ASAGOiNGな仲間づくり

事業評価指標	策定時(R1)	指標の推移			目標値(R6)	指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	担当課
		R2	R3	R4			
朝来市に住み続けたいと思う市民の割合(市民アンケート調査)	65.4% (R1年5月調査)	68.7% (R3年5月調査)	67.6% (R4年5月調査)	64.4% (R5年5月調査)	70.0%	朝来市に住み続けたいと思う市民の割合は、住んでいる地域に愛着や誇りを持つ市民の割合と相関関係を持っているが、新たな取組が少なく、多様な市民ニーズに対応した多様な学びの場づくりが不足していると考えられる。	総合政策課
朝来市の移住支援制度を利用して転入した人数	566人 (H26～H30)	838人 (R26～H2)	927人 (R26～H3)	1,032人 (H26～R4)	1,250人 (H26～R6)	—	市民協働課
移住相談件数(過去5年間の平均値)	194件/年 (H26～H30平均)	312件/年 (H28～R2平均)	393件/年 (H29～R3平均)	487件/年 (H30～R4平均)	200件/年 (R2～R6平均)	—	市民協働課
体験・移住交流プログラム数	5件/年 (H30)	4件/年 (R2)	4件/年 (R3)	9件/年 (R3)	6件/年	—	市民協働課 農林振興課
婚姻数(人口動態調査)	151組/年 (H30)	110組/年 (R1)	92組/年 (R2)	85組/年 (R3)	150組/年	コロナ禍による出会いの機会の減少などにより、全国的に婚姻数が減少しているため	市民協働課
婚活イベントの開催回数	6回/年 (R1)	7回/年 (R2)	4回/年 (R3)	9回/年 (R4)	7回/年	—	市民協働課
居住年数10年未満の市民で朝来市が住みやすいと思っている市民の割合(市民アンケート調査)	61.0% (R1年5月調査)	60.5% (R3年5月調査)	65.9% (R4年5月調査)	59.9% (R5年5月調査)	70.0%	移住年数が短いほど割合が低く、コロナ禍の最中に移住した方は、早い段階から相談等のできるような、地域等との安心できる繋がりが作りこわれたためと思われる。	市民協働課
移住者交流会実施回数	2回/年 (H30)	1回/年 (R2)	0回/年 (R3)	0回/年 (R4)	3回/年	大人数が集まることが予想され、行動制限が継続している中での開催を見送ったため。	市民協働課
居住年数10年未満の市民で区の活動に参加した市民の割合(市民アンケート調査)	51.2% (R1年5月調査)	44.4% (R3年5月調査)	36.6% (R4年5月調査)	47.6% (R5年5月調査)	55.0%	—	市民協働課

◆一人一人の行動につなげる情報発信

事業評価指標	策定時(R1)	指標の推移			目標値(R6)	指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	担当課
		R2	R3	R4			
家族や友だちに朝来市への移住を勧めたいと思う市民の割合(市民アンケート調査)	37.9% (R1年5月調査)	37.1% (R3年5月調査)	36.8% (R4年5月調査)	33.8% (R5年5月調査)	45.0%	家族や友達に朝来市への移住を勧めたいと思う市民の割合は、住んでいる地域に愛着や誇りを持つ市民の割合と相関関係を持っているが、新たな取組が少なく、多様な市民ニーズに対応した多様な学びの場づくりが不足していると考えられる。	総合政策課
自らの知識や経験を地域社会活動に活かしている市民の割合(市民アンケート調査) [再掲]	28.7% (R1年5月調査)	25.8% (R3年5月調査)	25.0% (R4年5月調査)	26.2% (R5年5月調査)	32.0%	—	市民協働課
市SNSアカウントによる発信回数 (Facebookちやすりんなう、Facebook観光情報、Instagram観光情報、LINE(R3.7~))	325回/年 (H30)	266回/年 (R2)	513回/年 (R3)	353回/年 (R4)	580回/年	全てのSNSの発信数は前年に比べて減少しており、各課担当職員の情報発信に対する意識に委ねられているところがる。	総合政策課
情報発信に係る講座開催回数	0回/年 (H30)	1回/年 (R2)	1回/年 (R3)	3回/年 (R4)	2回/年	—	市民協働課

基本目標2 魅力ある多様な「しごと」づくり

◆内発的な経済成長

事業評価指標	策定時(R1)	指標の推移			目標値(R6)	指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	担当課
		R2	R3	R4			
市内事業所への新卒就業者数 (就活サポートブック掲載企業のうち 製造業、建設業、福祉事業31社)	56人/年 (H29)	59人/年 (R2)	55人/年 (R3)	59人/年 (R4)	60人/年	—	経済振興課
ジョブサポあさご求職相談件数	15人/年 (H30)	15人/年 (R2)	8人/年 (R3)	7人/年 (R4)	17人/年	コロナ禍における市内求人活動の停滞による。	経済振興課
合同企業説明会参加者数	109人/年 (H30)	167人/年 (R2)	119人/年 (R3)	44人/年 (R4)	110人/年	都市部での採用活動の活発化や、少子化に伴う新卒者の減少に伴い、但馬での合同企業説明会への参加者が減少している。	経済振興課
大学生・高校生・中学生等の仕事体験 受入事業数(しごとゼミ、トライやる ウィーク等)	126事業所/年 (R1)	100事業所/年 (R2)	107事業所/年 (R3)	103事業所/年 (R4)	130事業所/年	児童生徒数の減及びコロナ禍により受入事業所数が減少した。	経済振興課
創業件数 (あさご元気産業創生センターが支援 した件数)	11件/年 (H30)	3件/年 (R2)	7件/年 (R3)	7件/年 (R4)	60件(累計) (R2~R6)	—	経済振興課
あさご元気産業創生センター相談件 数	51件/年 (H30)	131件/年 (R2)	128件/年 (R3)	133件/年 (R4)	60件/年	—	経済振興課
起業セミナー(創業塾)参加者数	28人/年 (R1)	18人/年 (R2)	13人/年 (R3)	24人/年 (R4)	20人/年	—	経済振興課
朝来市内女性就業者比率(国勢調 査)	68.8% (H27)	—	74.2% (R2)	—	70.8% (R7)	—	経済振興課
多様な働き方を推進するための事業 所向けセミナー	1回/年 (R1)	1回/年 (R2)	2回/年 (R3)	2回/年 (R4)	1回/年	—	経済振興課
働き方改革や多様な働き方を推進す るセミナー参加事業所数	10事業所/年 (R1)	8事業所/年 (R2)	23事業所/年 (R3)	21事業所/年 (R4)	12事業所/年	—	経済振興課
放課後児童クラブ・放課後子ども教室 設置数	11施設 (R1)	11施設 (R2)	12施設 (R3)	12施設 (R4)	12施設	—	こども育成課
病児保育設置個所数(病児対応型・ 病後児対応型)	2施設 (R1)	2施設 (R2)	1施設 (R3)	2施設 (R4)	3施設	—	こども育成課

◆交流人口拡大による経済循環活動の促進

事業評価指標	策定時(R1)	指標の推移			目標値(R6)	指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	担当課
		R2	R3	R4			
観光入込客数(観光動態調査)	2,278千人/年 (H30)	1,451千人/年 (R2)	1,492千人/年 (R3)	1,881千人/年 (R4)	2,572千人/年	—	観光交流課
体験型観光プログラム数	30件 (R1)	31件 (R2)	31件 (R3)	31件 (R4)	42件	—	観光交流課
朝来市観光ポータルサイト閲覧ユーザー数	176,665ユーザー/年 (H30)	282,149ユーザー/年 (R2)	215,230ユーザー/年 (R3)	252,322ユーザー/年 (R4)	249,000ユーザー/年	—	観光交流課
朝来市観光協会閲覧ユーザー数	0ユーザー/年 (R1)	77,265ユーザー/年 (R2)	111,791ユーザー/年 (R3)	122,160ユーザー/年 (R4)	249,000ユーザー/年	—	観光交流課
各種メディアでの情報発信回数	229回/年 (H30)	296回/年 (R2)	288回/年 (R3)	303回/年 (R4)	290回/年	—	観光交流課
一人当たりの観光消費額 ※R3から下の2項目に指標を変更	3,527円 (R1)	4,368円 (R2)			3,836円		観光交流課
└ 一人当たりの観光消費額 (市内宿泊あり) ※R3から新たに指標設定	14,117円 (H29)		17,705円 (R3)	16,900円 (R4)	16,567円 (R6)	旅行支援による宿泊費等の軽減につながったと考えられる。	観光交流課
└ 一人当たりの観光消費額 (市内宿泊なし) ※R3から新たに指標設定	2,590円 (H29)		2,345円 (R3)	4,850円 (R4)	2,807円 (R6)	—	観光交流課
延べ宿泊者数	112,770人/年 (H30)	58,455人/年 (R2)	75,432人/年 (R3)	104,871人/年 (R4)	133,000人/年	—	観光交流課
観光ガイド登録者数	53人 (H30)	51人 (R2)	49人 (R3)	48人 (R4)	60人	登録ガイドの引退により減少があった。	観光交流課
インバウンド来訪客数	10千人/年 (H30)	0.6千人/年 (R2)	0.4千人/年 (R3)	1.5千人/年 (R4)	23千人/年	—	観光交流課
朝来市多言語サイト「Visit Asago」の 閲覧ユーザー数	2,651ユーザー	8,370ユーザー/年 (R2)	6,846ユーザー/年 (R3)	8,068ユーザー/年 (R4)	10,000ユーザー	—	観光交流課

◆儲ける農林畜産業への転換

事業評価指標	策定時(R1)	指標の推移			目標値(R6)	指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	担当課
		R2	R3	R4			
認定農業者数	29人 (R1)	32人 (R2)	34人 (R3)	35人 (R4)	44人	—	農林振興課
市研修制度を活用した新規就農者数	18人 (H28～R1)	20人 (H28～R2)	25人 (H28～R3)	28人 (H28～R4)	50人(累計) (H28～R6)	—	農林振興課
新たに農業に携わる女性の数	—	14人	17人	18人	100人(累計)	—	農林振興課
就業希望者向けイベント出展回数	8回/年 (R1)	3回/年 (R2)	1回/年 (R3)	0回/年 (R4)	13回/年	コロナの影響により、イベント出展が出来なかった。	農林振興課
小中学校での農林畜産業体験回数 (1校あたり年間実施回数)	0.92回/校・年 (R1)	0.92回/校・年 (R2)	0.92回/校・年 (R3)	0.92回/校・年 (R4)	2回/校・年	—	農林振興課
農業経営セミナー開催回数	0回/年 (R1)	2回/年 (R2)	7回/年 (R3)	6回/年 (R4)	3回/年	—	農林振興課
朝来市全体の農業収入額	11.6億円 (H30)	11.2億円 (R2)	10.5億円 (R3)	10.7億円 (R4)	13.0億円	—	農林振興課
道の駅農産物販売額	327,839千円 (H30)	274,249千円 (R2)	310,815千円 (R3)	292,708千円 (R4)	367,180千円	梅雨時期の雨不足、7月から8月にかけての高温・乾燥の影響による収量の減少が考えられる。	農林振興課 (観光交流課)
学校給食への地元食材供給率	36% (H30)	38% (R2)	41% (R3)	37% (R4)	50%	梅雨時期の雨不足、7月から8月にかけての高温・乾燥の影響による収量の減少が考えられる。	農林振興課
有機JAS、GAP、HACCP取得農業者数	2人 (H30)	2人 (R2)	2人 (R3)	2人 (R4)	17人	—	農林振興課
大規模ビニールハウス設置数	40棟 (H30)	47棟 (R2)	51棟 (R3)	53棟 (R4)	60棟	—	農林振興課
大学・企業等研究機関と連携した新技術導入研究数	0件/年 (R1)	0件/年 (R2)	1件/年 (R3)	1件/年 (R4)	1件/年	—	農林振興課

素材生産量(兵庫県林業統計書)	15,789m ³ /年 (H29県林業統計書)	15,682m ³ /年 (R元県林業統計書)	16,844m ³ /年 (R2県林業統計書)	23,479m ³ /年 (R3県林業統計書)	18,000m ³ /年	—	農林振興課
林業労働者数(兵庫県林業統計書)	55人 (H29県林業統計書)	52人 (R元県林業統計書)	48人 (R2県林業統計書)	50人 (R3県林業統計書)	65人	—	農林振興課
私有林整備面積	40ha/年 (R1)	51ha/年 (R2)	57ha/年 (R3)	104ha/年 (R4)	80ha/年	—	農林振興課
未利用材搬出量	5,560t/年 (H30)	6,502t/年 (R2)	4,030t/年 (R3)	3,831t/年 (R4)	8,000t/年	生野バイオマス発電所の休止を受け、搬入量が減少した。	農林振興課

基本目標3 誰もが希望を持ち、心豊かに安心して暮らせる「まち」づくり

◆地域コミュニティを基盤とした誰もが居場所と役割のあるまちづくり

事業評価指標	策定時 (R1)	指標の推移			目標値 (R6)	指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	担当課
		R2	R3	R4			
地域自治協議会の参画人数 [再掲]	1,671人 (H30)	1,698人 (R2)	1,385人 (R3)	1,332人 (R4)	1,850人	コロナ禍において事業展開ができなかったため	市民協働課
自らの知識や経験を地域社会活動に 活かしている市民の割合(市民アン ケート調査) [再掲]	28.7% (R1年5月調査)	25.8% (R3年5月調査)	25.0% (R4年5月調査)	26.2% (R5年5月調査)	32.0%	—	市民協働課
住民アンケート等地域住民の意見を 反映して地域まちづくり計画策定作業 (見直し分)をした地域自治協議会数	6協議会 (R1)	7協議会 (R2)	9協議会 (R3)	11協議会 (R4)	11協議会	—	市民協働課
地域の多様な主体・活動をつなぐ対 話の場等開催回数	0回/年 (R1)	2回/年 (R2)	1回/年 (R3)	2回/年 (R4)	4回/年	—	市民協働課
地域づくりの学びの場開催回数 [再掲]	5回/年 (R1)	6回/年 (R2)	5回/年 (R3)	6回/年 (R4)	5回/年	—	市民協働課

◆誰もが安心して楽しく暮らせるまちづくり

事業評価指標	策定時 (R1)	指標の推移			目標値 (R6)	指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	担当課
		R2	R3	R4			
区の地域活動に参加した人数の割合 (市民アンケート調査) [再掲]	69.7% (R1年5月調査)	52.6% (R3年5月調査)	45.1% (R4年5月調査)	53.5% (R5年5月調査)	75.0%	—	市民協働課
あさごいきいき百歳体操実施グループ数	64グループ (H31年3月)	73グループ (R3年3月)	86グループ (R4年3月)	85グループ (R5年3月)	80グループ	—	ふくし相談支援課
地域ミニデイ事業登録グループ数	66グループ (H31年3月)	86グループ (R3年3月)	68グループ (R4年3月)	80グループ (R5年3月)	84グループ	—	ふくし相談支援課
ひきこもり等居場所づくり事業数	0事業 (R1)	1事業 (R2)	1事業 (R3)	2事業 (R4)	1事業	—	社会福祉課
国際交流・国内交流など多様な交流が推進されていると感じる市民の割合 (市民アンケート調査) ※R4から下の2項目に指標を変更	43.2% (R1年5月調査)	27.5% (R3年5月調査)	31.4% (R4年5月調査)		45.0%		人権推進課
└ 在住外国人と地域とのつながりづくりが進められていると感じる市民の割合 (市民アンケート調査) ※R4から新たに指標設定			19.1% (R4年5月調査)	15.5% (R5年5月調査)	20.6%	新型コロナウイルス感染拡大により、人と人がふれあう機会が制限された。	人権推進課
└ 国際交流において多様な文化に触れる機会があると感じる市民の割合 (市民アンケート調査) ※R4から新たに指標設定			11.5% (R4年5月調査)	9.0% (R5年5月調査)	13.0%	新型コロナウイルス感染拡大により、人と人がふれあう機会が制限された。	人権推進課
日本語教室参加者数	32人 (R1年12月)	27人 (R3年3月)	28人 (R4年3月)	25人 (R5年3月)	40人	新型コロナウイルス感染拡大により、人と人がふれあう機会が制限された。	人権推進課
日本語教室ボランティアスタッフ数	22人 (R1年12月)	24人 (R3年3月)	22人 (R4年3月)	18人 (R5年3月)	27人	新型コロナウイルス感染拡大により、人と人がふれあう機会が制限された。	人権推進課
65歳以上の要支援・要介護認定率	21.8% (H31年3月)	21.9% (R3年3月)	22.1% (R4年3月)	22.1% (R5年3月)	20.0%以下	—	高年福祉課
健幸づくりポイント事業寄附及び交換申請者数	788人/年 (R1年度)	813人/年 (R2年度)	881人/年 (R3年度)	965人/年 (R4年度)	1,040人/年	—	健幸づくり推進課
小学6年生の肥満傾向の出現率(朝来市養護教諭研究会)	男7.7% 女9.4% (R1)	男10.3% 女14.7% (R2)	男11.8% 女10.4% (R3)	男11.7% 女12.1% (R4)	男5.0% 女5.0%	新型コロナウイルス感染症による活動制限の影響が考えられる。	学校教育課

◆まちづくりや市民の暮らしを支えるための連携の強化

事業評価指標	策定時 (R1)	指標の推移			目標値 (R6)	指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	担当課
		R2	R3	R4			
丹波市・福知山市の生活圏域での連携分野数	4分野 (R1)	6分野 (R2)	6分野 (R3)	6分野 (R4)	6分野	—	総合政策課
連携協定大学数	3校 (R1)	3校 (R2)	4校 (R3)	5校 (R4)	5校	—	総合政策課
公共交通利用者数(路線バス・コミュニティバス年間利用者数)	234,246人 (H30)	177,677人 (R2)	211,596人 (R3)	211,598人 (R4)	216,000人	新型コロナによる行動制限や人口減少・少子高齢化の進行などにより、利用者数が目標値まで届かなかった。	総合政策課
新たな利用促進事業実施件数	0事業 (R1)	1事業 (R2)	2事業(累計) (R2～R3)	5事業(累計) (R2～R4)	5事業(累計) (R2～R6)	—	総合政策課
新たな交通手段の導入件数	1事業 (R1)	0事業 (R2)	0事業 (R3)	1事業 (R4)	2事業(累計) (R2～R6)	—	総合政策課
公共施設の延べ床面積	240,258㎡ (H28)	231,195㎡ (R2)	230,825㎡ (R3)	230,672㎡ (R4)	216,233㎡以下	—	総合政策課
公共施設個別施設設計画策定率(対総床面積)	1.3% (H28)	100% (R2)	100% (R3)	100% (R4)	100%	—	総合政策課
公共施設の有効活用に向けた対話・周知活動数	1件/年 (H30)	4件/年 (R2)	1件/年 (R3)	0件/年 (R4)	2件/年	公共施設に関する計画策定からマネジメントの段階へと進んでおり、総括課として、積極的なワークショップ等の開催は難しい。一方で施設担当課による個別施設に係る利用者への説明等は行われている。	総合政策課
環境にやさしいまちづくりが進められていると感じている市民の割合(市民アンケート調査)	13.1% (R1年5月調査)	12.5% (R3年5月調査)	17.6% (R4年5月調査)	15.8% (R5年5月調査)	15.0%	—	市民課
学校・地域等での環境学習の開催回数	42回/年 (H30)	47回/年	46回/年	50回/年	53回/年	—	市民課
コウノトリ育む農法等環境保全型農業耕作面積	80ha (H30)	60ha (R2)	73ha (R3)	75ha (R4)	150ha	—	農林振興課
オオサンショウウオを学ぶ出前講座回数	3回/年 (R1)	3回/年 (R2)	0回/年 (R3)	15回/年 (R4)	5回/年	—	文化財課